



館蔵 ウィリアム・モリス「ケルムスコット・プレス設立趣意書」(1898年)

近畿大学中央図書館報

# 香散見草

2007 36号

## 目次

- ☆「21世紀教育改革」における図書館の検討課題について  
..... 櫻井 齊... 1
- ☆館蔵資料紹介 ..... 中口 譲... 5
- ☆キャッチャー・イン・ザ・ライブラリー ..... 諏訪野 大... 9
- ☆近畿大学中央図書館の利用者教育について  
..... 中尾民子・栗原さとみ... 13
- ☆「葵文庫」収録のドイツ語書籍と「独逸学事始」... 荒木康彦... 19
- ☆大学生生活と図書館 ..... 岡崎大祐... 31
- ☆ホームページ ..... 泉野睦美・出田善明... 35
- ☆編集後記 ..... 37

香 散 見 草

山里の軒はにさけるかさみくさ

色をも香をも誰みはやさん

(蔵玉和歌集)

編集委員

「香散見草」36号の発行にあたり、快くご寄稿くださいました皆さまに厚く感謝いたしお礼申し上げます。

夏期休暇も終わり 後期授業が始まりました。

中央図書館では、利用者教育の一貫として蔵書展（美しい本の世界）、データベース体験講座などを催し、大学図書館としてより多くの方々にご利用、ご活用いただけるよう努力しております。

皆様のご来館をお待ちしております。

(S.T)

編集委員

「香散見草」36号は教職員、本学在学生の皆様にご協力いただき、無事に刊行することができました。編集担当者一同、心からお礼を申し上げます。

諏訪野先生の文章を読ませていただき、私も大学生時代に思わせぶりな訳に魅かれて、サリンジャーの『ライ麦畑でつかまえて』の原著を読みはじめ、途中でやめてしまったのを思い出しました。同じように子どもの頃には理解できず、最後まで読まなかった本に『星の王子さま』があります。図書館で新訳をかりて読んでみたのですが、人生について考えさせられる内容で、やはりあの頃の私には難しかったと変に納得してしまいました。

読書の秋、『ライ麦畑でつかまえて』にもう一度挑戦しようと思います。

(M.I)

編集委員

「帰ってきたんだ!」と13年ぶりに館報の原稿を見ながら、感慨に浸っています。

ただ、図書館はこの10年で情報化の波をうけ急激な変化を遂げていました。利用者として随分便利になったものだと思っていたのですが、利用される側に改めて立って、この変貌ぶりに戸惑う自分があるのも確かです。

「脳のリハビリやるぞ!」とパソコンを前に意気込む自分に「目」と「頭」とがついてきません。

「うん・ん?!まさか」「やっぱり」「あ・あ・・・」

ゆっくり、急いで、他の課員の後姿が見えるように頑張るしかないかと思う今日この頃です。

(E.N)

編集委員

図書館に転属し毎日、数々の新しい本・雑誌と出会うことができることとなりました。果たしてよく読むようになったかどうかは別の話、自分でも困ったものと思っています。

利用者と一口で言ってもこれもまた幅が広い。学生・大学院生、教職員、通信教育部生、科目等履修生や地域社会の一般社会人、高等学校生等、時代のニーズに応えるために在学生在が利用頻度の低いとき開放し、利用していただいています。

図書館は、利潤を生み出すところではなく、かなりなお金を費やしていきます。有形無形の形で利用者に、少なからずともフィードバックされていると確信はしていますが、図書・雑誌に関し大学当局、企業サイドはどのように思っているか聞いてみたいところです。

「利用者のみなさん!!」、みなさん自身が図書館を運営しているという意識で、約141万冊の蔵書を有する図書館を是非利用してください。

「図書館カードは、お持ちでしょうか?」お持ちでない方は、図書館3階閲覧カウンターで発行いたしますので、お立ち寄りください。みなさんに一番身近な、文庫・新書本は、継続購入しており最新版を読むことが可能です。

また、みなさんも毎週日曜日にご覧になったこともあると思いますが、新聞書評を参考にして、今、話題の図書を購入しています。是非お立ち寄りいただきましてご一読ください。

最後に先生方におかれましては、学生時代に図書館を利用し、資料収集等を始めとして、論文執筆に励まれた経験・体験談を、学生・大学院生にお話いただき、図書館を活用し、研究活動を行っていただくようご督励方お願い申し上げます。

(K.Y)



近畿大学中央図書館報 香散見草 36号

2007年10月発行

編集・発行 近畿大学中央図書館

〒577-8502 東大阪市小若江3丁目4番1号

TEL(06)6721-2332